

ホスピタル坂東初の記念イベント「看護の日」を開催いたしました！

先日、5月12日看護の日（国際ナースデー）ということで、ホスピタル坂東初の記念イベントを開催いたしました。

ちなみに看護の日とは、皆様もご存知の近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲール生誕の日であり、1965年から、この日を国際看護師協会(本部:ジュネーブ)は、「国際看護師の日」と定めております。

また、日本では、旧厚生省より、「21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要であり、こうした心を老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう」と、1990年に看護の日が制定されました。

当日は、看護部が主体となり、健康診断と題し、「身長・体重・血圧・血糖・体脂肪測定」や「健康相談」、また「BLS 1次救命の基本講義」、「ハンドマッサージ」リハビリスタッフによる「体力測定」や「お口の相談」、管理栄養士による「栄養指導」を行いました。

当日は天候にも恵まれ、平日にもかかわらず、多数の方に来場して頂き、大盛況となりました。

今回が初めてということで、至らない点もあったかとおもいますが、看護部の理念でもある「患者様の心に寄り添った満足される看護を提供し社会福祉に貢献します」の元、今後も継続してイベントを開催していきたいと思っておりますので、来年もぜひ看護の日のイベントにお越しください。





